

科目名	数学B		学年・必修	2年	選択	使用教科書	数学B Advanced『東京書籍』							
			単位数	2単位		使用副教材	Standard Buddy WIDE 数学Ⅱ・B『東京書籍』							
学習目標	<p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>													
学習方法	<p>○一斉授業またはグループ学習</p> <p>・積極的に授業を受けてください。また、予習は個々の判断に任せますが、復習は欠かさないようにしましょう。</p> <p>・数学Bは、進路実現のために数学Bを必要とする人たちが対象として開講される科目です。数学ⅠAは理解していることを前提に授業が進むので、必要なときは自分でリカバリーしてください。その覚悟がある者が選択する科目だと昨年の選択科目ガイドで説明しています。選択者の覚悟と不断の努力を期待し、応援します。</p> <p>○授業の持ち物</p> <p>・教科書 ・副教材 ・ノート</p>													
学習評価	学習評価				評価方法									
	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		評価方法		割合(%)							
	a	関心・意欲・態度	数列またはベクトルに関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。		1	授業による観察	授業への参加態度、行動、発言等を観察により評価。グループ活動への参加態度、グループ活動における役割などを観察により評価。	10						
	b	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的に考えたりすることを通して、数列またはベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。		2	課題 レポート 小テスト	レポートの内容が目的に沿っているか、工夫されているか、また発表においてよりわかりやすくプレゼンテーションが出来ているかを評価、もしくは小テストの平均点により評価。	20						
	c	数学的な技能	数列またはベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。		3	定期考査		70						
d	知識・理解	数列またはベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。												
他教科との関連性	該当する単元(教材)		関連する領域・科目		教科横断的な視点や関連する学習活動の例(連携授業を行う場合はその内容)									
	数列		家庭基礎		「リボルビング払いと漸化式」 リボルビング払いという言葉を知ったことがあるだろうか。これは、クレジットカードの支払い方法のひとつで、毎月の支払額を一定の額に固定して金利とともに返済していく払い方である。つまり、大きな(高額な)買い物をしたとき、まとまった額の現金が手元になくても支払いができるという点で優れている。・・・しかし良いことばかりではない。金利を支払うということは、実際に購入した代金以上に現金を支払わなければならないということである。○円の買い物でリボルビング払いで支払うとき、□円月後には総額いくら支払うことになっているのか、ちょっと知るのが恐ろしいそんな事実を、漸化式からnか月後の支払総額を導くことによって瞬時に算出することができる。									
学期	月	単元名(教材)		配当時間	学習の目標・ねらい				学習評価	学習内容と学習のポイント	身に付けられる Okushiriyety 5.0			
前期	4 5	オリエンテーション 1章 数列 1節 等差数列と等比数列 2節 漸化式と数学的帰納法		16	・いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。 ・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。				○ 1	○ 23	○ 23	○ 23	・数列 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和 ・和の記号Σ ・いろいろな数列	思考・判断・表現力
	6 7			8	・漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列について、一般項を求めること。 また、漸化式を事象の考察に活用すること。 ・数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること。				○ 1	○ 23	○ 23	○ 23	・漸化式	思考・判断・表現力
	8			6	・数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること。				○ 1	○ 23	○ 23	○ 23	・数学的帰納法	思考・判断・表現力
後期	9 10 11 12 1	2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 2節 ベクトルの応用 3節 空間におけるベクトル		30	・ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。				○ 1	○ 23	○ 23	○ 23	・ベクトルの意味 ・ベクトルの加法・減法・実数倍 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトル方程式 ・空間における座標 ・空間におけるベクトル	思考・判断・表現力
	2 3	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bを 関連させた問題演習		10	・数学ⅠAⅡBの内容を相互に関連付けた内容の問題演習を通して、生徒の主体的な学習を身に付け、数学的な技能や見方や考え方を習得する。				○ 1	○ 23	○ 23	○ 23		思考・判断・表現力